

音環境の測定のレポートについて

1回目のレポートとしては、全体的に良いできだったように思います。ただし、それでも修正して欲しい点などもあります。下記に、気がついたことをまとめておきます。

- 1) 「はじめに」や「測定の目的」などの一番最初のところは、できるだけ自分なりに、しかもできるだけ詳細に書くように努力してください。
- 2) 図表はできるだけ見やすくなるよう努力しましょう。また、タイトルを入れてください（図の場合は図の下に、表の場合は表の上に。）。図表の見方も簡単で良いから説明を入れましょう（ただ、並べただけではわかりにくいです）。また、凡例はきちんと書きましょう。
- 3) 本文中で、どの図表を見ればよいのか、どの図表を見た結果言えることなのか、が分かるように書き込みましょう。
- 4) 3つの班の結果をまとめて使用する場合は、測定場所も3つとも図面にしておきましょう。3つのうち2つだけというのは、おかしな感じです。また、図の書き方も揃えましょう。「cm」にしたり、「m」にしたりせずに。
- 5) 道路騒音、室内騒音とも2回以上ずつ測定を行っていますが、それぞれの回での差異がわかるように記述しましょう。例えば、表にまとめて差がわかるようにするなどしましょう。さらに、なぜそのような差を付けたのか、意図が書かれてあると良いと思います。
- 6) いつも単位を忘れないように注意してください。
- 7) 測定の場所は、第三者が見てもわかるように描きましょう。また、日赤病院の話を出す場合は、日赤病院の位置も書き込む必要があります。
- 8) 「50」と「50.0」は意味が違います。注意しましょう。
- 9) 道路交通騒音については、日赤病院だけではなく、大学に関する評価は如何でしょうか。
- 10) 室内騒音については、NC曲線だけではなく、 L_A での評価は如何でしょうか。
- 11) 他の班の測定結果と自分の班の測定結果を比較するなどして、いろいろと考察を深めましょう。
- 12) できるだけ、図書館の本やインターネットでいろいろと調べながら考察しましょう。
- 13) 何らかの基準を用いる場合は、出典を明記しましょう。第三者がわかるように。
- 14) **ゴシック**と明朝の使い分けを上手にしましょう。**太字**はわかりにくいです。
- 15) 考察と感想を一緒に書かないようにしましょう。分けましょう。
- 16) 次回からは、測定前の準備や話し合いをきちんと行ってから、測定に入るようにしましょう。